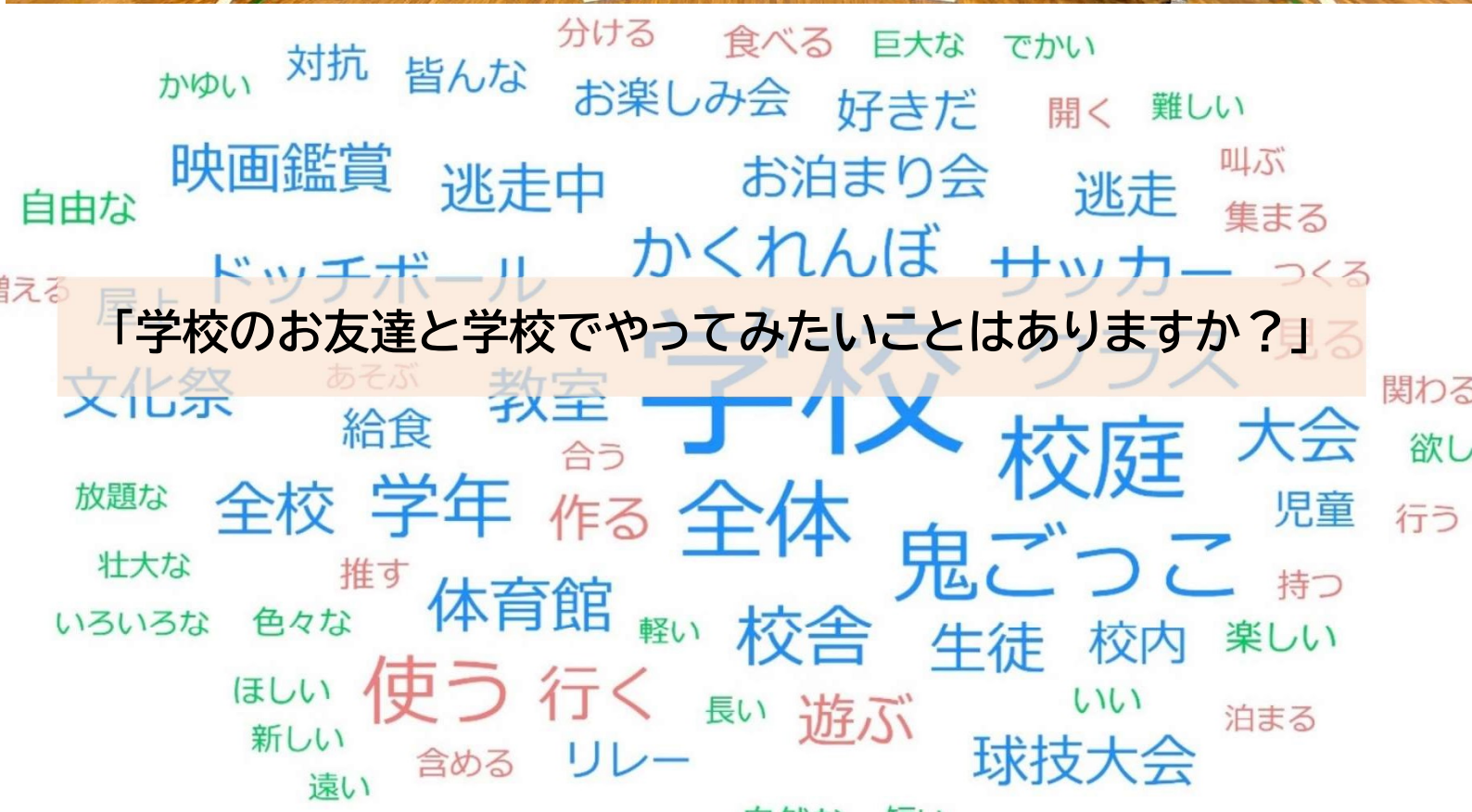


JOIN US!

ジョイ ナス

連雀学園コミュニティ・スクール委員会 広報誌



生活振り返りアンケートから
連雀学園児童・生徒の回答を Wordcloud にて集計・可視化

R5年度評価号

今号（評価号）について

三鷹市の全学園は学園、および各校の経営方針に沿って活動しています。連雀学園コミュニティ・スクール（以下「CS」）委員会では次年度への指針や課題を見つける目的で、小学生4～6年生、中学生とその保護者を対象に生活振り返りアンケートを今年も実施しました。また CS 委員の活動に対しての振り返りアンケートを行いました。これらのアンケートの結果から連雀学園の子どもたちの今をご紹介します。

生活振り返りアンケート

アンケート結果からいくつかをピックアップしてご報告します。生活振り返りアンケートの詳細は、学園 HP に掲載しています。今回は、トピックスと普段の学校や家庭における生活全般に関する結果からご紹介します。

- ・調査時期：2023年10月6日～10月25日
- ・対象：連雀学園に通う小学4年生～中学3年生と保護者

生活振り返りアンケートから①今期のトピックス！

【学校でやってみたいことランキング】

Q:学校のお友達と学校でやってみたいことはありますか？遊びでも勉強でも何でも OK です。

	小学生 (%)	中学生 (%)	保護者 (%)		
1 鬼ごっこ・逃走中	18.3	鬼ごっこ・逃走中	18.3	鬼ごっこ・逃走中	4.1
2 ゲーム	5.7	文化祭	5.5	映画鑑賞	3.1
3 かくれんぼ	4.8	球技大会	5.3	花火	2.6
4 映画鑑賞	3.4	映画鑑賞	5.2	文化祭	2.2
他 みんなで〇〇する	25.1	みんなで〇〇する	9.6	なし空欄	38.6

学校でやってみたいというテーマでは、保護者も子どもたちも「鬼ごっこ」をしたいという点が一致しました。みんな学校中を走り回りたい想いは一緒なんですね。他にも、映画鑑賞、文化祭という部分で親子の意見が一致するところがあるようです。

小学生については、「みんなで〇〇を一緒にする」という回答が多く、〇〇についてはたくさんの違った想いがありました。みんなで何かをすることが楽しいと感じているようです。中学生に関しては、文化系と体育系の意見が均衡していました。また、「みんなで〇〇する」が減ってくる、「なし空欄」と答える数が、保護者・中学生に多い事にも注目すべきと感じます。

【今年一年で一番楽しかったことランキング】（※保護者は「子どもが楽しんでいた」こと）

Q:最近一年で一番楽しかったことは何ですか？

	小学生 (%)	中学生 (%)	保護者 (%)		
1 運動会	26.1	旅行・修学旅行	15.5	運動会	10.3
2 自然教室	8.5	合唱コンクール	12.8	旅行	8.4
3 友だちと遊ぶ	7.4	体育大会	10.9	部活・スポーツ	7.6
4 旅行	4.4	部活	7.2	自然教室	3.3
他 周年行事・イベント	4	なし空欄	13.7	なし空欄	31.8

一番楽しかったことについては、運動会・体育大会や旅行・修学旅行が保護者、小・中学生共通で回答が多く、小学生では自然教室、中学生では部活という点でも保護者と子供たちの回答が一致していました。

小学生は、身体を動かすことが多く、中学生になると文化系・体育系とそれぞれ趣向がはっきりとしてくるという傾向もみられました。

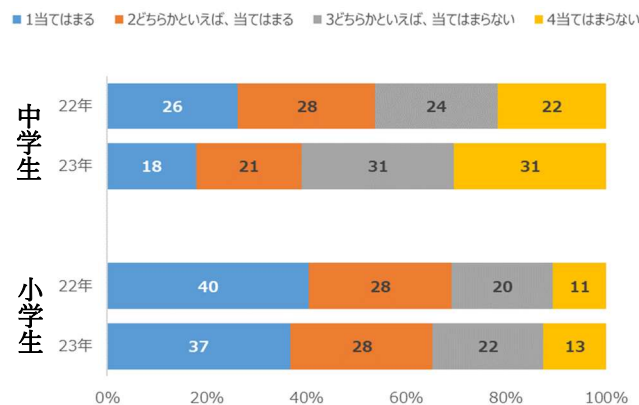
今回のアンケートを通じ、特に子供たちがやってみたいことをもとに新たな試みを行っていければ素晴らしいと感じます。アンケートがアンケートで終わらず、それを活かした活動が増えれば「なし」という回答も減っていくと感じます。

生活振り返りアンケートから②（普段の学校や家庭における生活全般について）

アンケート結果の中で比較を行い、差が出ている点について考えてみました。

【昨年の結果よりダウンしていた項目】

Q:読書・家庭学習 * 読書の習慣はついていますか？



コロナ禍でついた読書習慣も、規制が緩和され様々なことにチャレンジできるようになり、読書の時間が減ってしまったのでしょうか？読書には集中力・読解力の向上、想像力や語彙力が豊かになるなど、子どもたちには大切な習慣です。

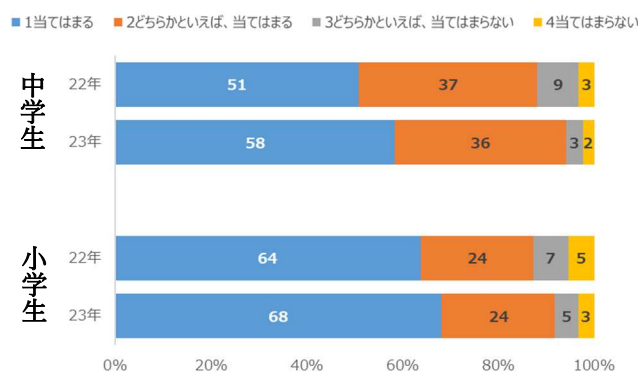
短い時間でも日々の習慣として身につくと良いですね。

ご存知でしたか？-読書-

連雀学園で共通して行っているのは、朝読書と読み聞かせ、学園のしおりデザインコンテストです。小学校は、読書の強化期間、中学校は、ブックトークやビブリオバトルなども行っています。図書館は、図書館司書により、おすすめの本やコーナーが設置されることもあります。なんと！三鷹市の小・中学校では図書館司書が週5日在席です（配置されていない市区もあります）。※土曜日の図書館開放は、在校生のためであることはもちろんですが、市民に開放されている市の図書館の役割も果たしています。

【昨年の結果よりアップしていた項目】

Q:学校からの情報発信 * 学校について知りたいことをお便りやクラスルームで先生から伝えられていますか？



学校からの情報発信がウェブ上でわかるようになり、「子どもが手紙を出さないから知らなかった！」などのトラブルが少なくなったのでしょうか。逆に自ら情報を得ないと「知らなかった」ということと同じ意味になります。知りたいことだけでなく、子どもたちを取り巻く環境を、広範囲に積極的な情報収集が必要になりますね。

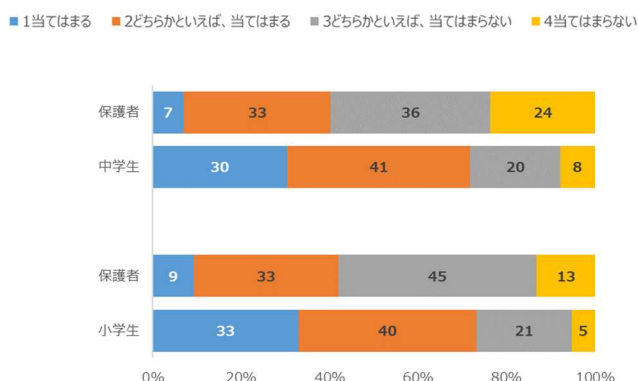


ご存知でしたか？-情報提供-

学校だよりやホームページにて、小学校では毎日の生活の写真や、給食のメニューや食材、中学校では Google フォームを使ったアンケートの結果など各校で工夫を凝らした情報提供を行っています。学校だよりは各校毎月発行しています。電子メール（「校支援」保護者連絡帳の活用）と紙媒体の効果的な配信を心がけています。

【児童・生徒と保護者の意見に差があった項目】①

Q：自分で後片付けや整理整頓（せいりせいとん）をしていますか？



子どもたちが考える整理整頓の基準と保護者の考える整理整頓の基準が違うことが予想されます。整った環境で学習するのは、学習意欲の向上につながるとわれています。この結果をきっかけに、親子で片付けや整理整頓について話し合い、実際に片付けをして、次学年の準備をするのもいいかもしれませんね。

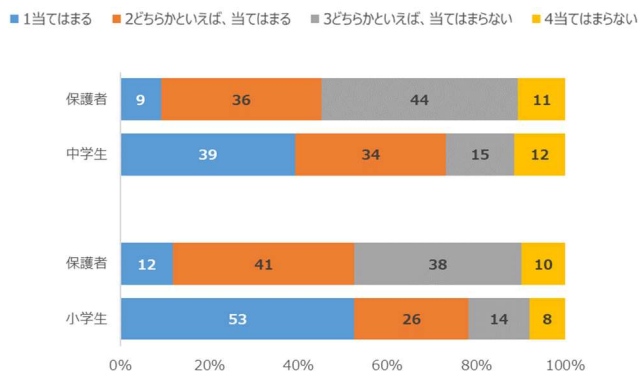


ご存知でしたか？-整理整頓-

学校としては「基本的な生活習慣」の一つとして、持ち物の整理の指導をしています。ロッカーの整理や履物をそろえる指導など学校や学年、学級の方針等に従って、取組みの詳細は異なる部分もありますが、集団生活をする上で自分のものを自分で管理する、他の人の迷惑にならないよう、指導をしています。

【児童・生徒と保護者の意見に差があった項目】②

Q：地震などの災害のときの避難場所を知っていますか？



子どもたちは日頃、学校生活の中で避難訓練や避難場所の確認などが行われ、防災に対する意識は高いと感じられます。保護者は災害に対する意識が低くなってしまいがちです。今年は年頭から大きな地震があり、防災意識も高まっていると思います。そこで、改めて家族で避難場所や集合場所について話し合う必要があるかもしれません。自宅から避難場所までの経路を確認してみてもいいかもしれませんね。



ご存知でしたか？-防災-

学校には月1回の避難訓練が義務付けられています。（8・9月は1回で年間11回）これに加えて、退避訓練という、教員がいない時間帯（朝や休み時間等）などに、児童・生徒が日頃の訓練どおりに動けるのかを確認する訓練もあります。さらに月1回の安全指導があり、この中で、防災にかかわる内容を扱う月もあります。（なお安全指導の内容は防災に限ってはいません。交通安全や学校での過ごし方などもあります）また、主に社会や総合的な学習の時間等で、地域の安全などについて学習しています。

生活振り返りアンケートの詳細データは連雀学園 HP に掲載中です。QRコードからどうぞ



学習アンケート【児童・生徒】

児童・生徒が回答するアンケート量がこれまで過多であったことから、今年度は、4・5月に行った国や市の学力調査を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と学習用タブレット端末の活用に関する質問への児童・生徒の回答状況をお知らせします。調査結果を受けての、授業改善の内容は各校のHPに掲載されている「授業改善推進プラン」をご覧ください。なお、この調査への回答は今年度の初めに行われたもので昨年度の調査から約半年後の状況です。今年度の広報誌では、今年度はじめの状況と、今後に向けた取組みをご確認いただいています。

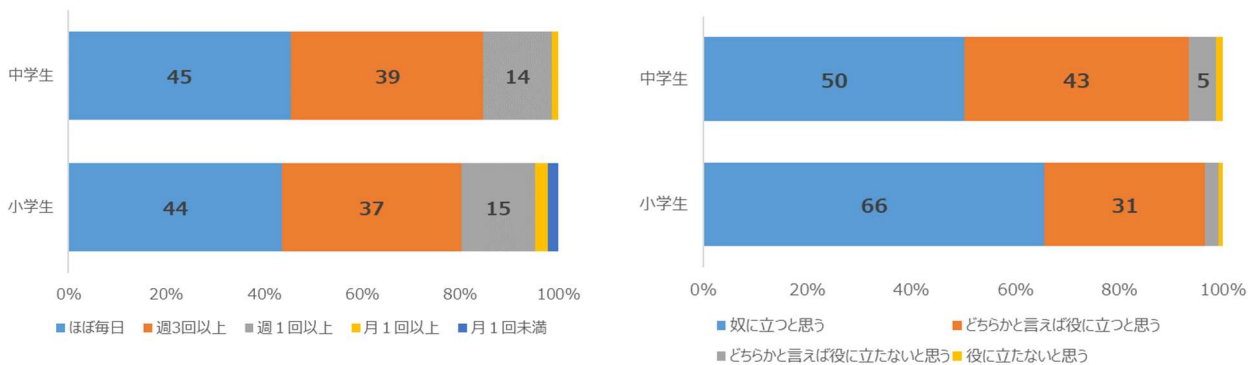
概要の説明

学習アンケート 昨年度掲載した設問と関連した2つの内容についてお知らせします。



(左) これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

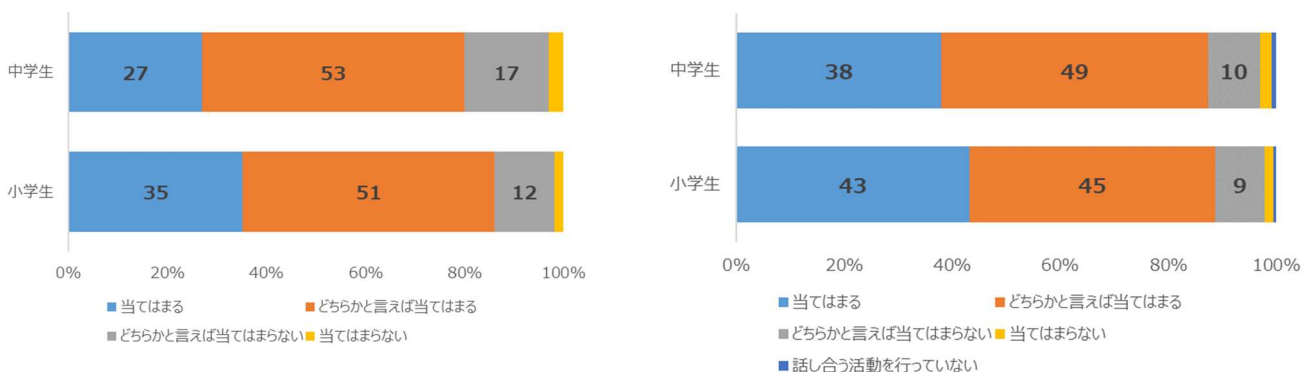
(右) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。



小学生よりも中学生の方が、授業でICT機器を使用する割合が増えています。実際の授業の場面を考えると、学年が上がるにつれて使用する機会は増えると思われ、勉強に役立つかどうかは、小・中学生ともほとんどの児童・生徒が肯定的な意見ではありますが、中学生では、学習方法に対する見方や考え方が育ち、その学習場面で最も必要なツールなのかなどを、より深く考えた回答と思われる。

(左) これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

(右) 学級の友人と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



「自分で考え、取り組んでいる」も「話し合って考えを深めたり、広げたりする」も小・中学生ともに80%以上が肯定的回答であり、小学校も中学校も発達段階に応じた授業改善を進めていると思われる。ただし、「当てはまる」と回答した中学生の割合がやや低くなっています。これは学習内容が高度で量的にも増えていることが要因として考えられます。

CS 活動に対する振り返りアンケート

CS 委員が約 1 年間活動してきたことを振り返るアンケートです。月に一度行われる CS 委員会のほか、各部での活動（広報部、サポート部、評価部）に加え、今年は 1 2 月に「連雀ジョイナスフェス」や 3 月に天文学者の山岡先生をお招きして講演会も開催しました。

Q：【CS 委員会、地域、家庭と学園・学校が協働して行うこと】

CS 委員として、協力し取り組むことができた項目を以下から 1 つ選んでください。

選択肢	回答数
協働しての交流活動	10
教職員の当事者意識 CS 委員会・地域、家庭との協働	2
学園・学校支援組織との連携	1
交流活動の改善	1
児童・生徒理解の促進	1
実践力につながるあいさつ運動	1
総計	16

「協働しての交流活動」を選んだ理由は？

- ・連雀ジョイナスフェスなどを通じて、地域団体同士のコミュニケーションの場を作ることができたから
- ・今年度は勉強会やイベントなどで各校の先生方を知ることができた
- ・委員と教職員互いに理解と協力がないと開催が難しい 100 人の会、笑顔満載などが行われたから

CS 委員として学園充実のために取り組みたいことは？

- ・子どもだけでなく、大人も含め 4 校が交流できる機会を計画する
- ・CS 委員会を構成する委員が所属する各団体の取り組みを、教員と保護者へわかりやすく伝えたい
- ・子どもたちの声を活動にもっと取り入れたい
- ・自分の子どもが通っていた小学校でしかボランティアをしたことがないので、他校でも経験してみたい

あなたにとって、CS 委員会とは何ですか？

- ・学園内の横のつながりを作れる場
- ・今まで知らなかった地域や学園内の方々と出会える場
- ・いろいろな立場で学校に関わる方々の意見に触れられる場
- ・子供がお世話になった恩返しの場合
- ・学校と地域をつなげられる可能性も感じられる場であると思うが、その困難さを実感する場でもある

CS 委員会 評価部とは？

連雀学園 4 校の各学校関係者から選出された CS 委員から 6 名と担当校長、副校長の計 8 名で、連雀学園各校の様々な活動や計画に対してアンケートをとり、その結果を評価し、お知らせ（評価号発行）する活動を行っています。

CS 委員会ってどんな感じ？

CS 委員によるグループ発表の様子（1 月度 CS 委員会）



連雀学園をより良くするために私たちは何ができるか？
今学園に何を求めるのか？ CS 委員会では参加者全員で熟議を行い、学園の未来像を描きながら学園に関わるみなさんの代表として、時に悩み、時に喜び合い、率直な意見を交わし楽しく 1 年間務めています。